

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

帝人株式会社 樹脂事業本部 三原生産部

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町1丁目1番20号

(3) 業種

1851 プラスチック成形材料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2(2020)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
エネルギー 起源CO ₂	7,831	8,370 (6.9)	7,710 1.6	5,073 35.2		100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	7,831	8,370 (6.9)	7,710 1.6	5,073 35.2		100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価	<p>【'25排出量過多理由】基準年の'20年度はコロナ影響で生産量が25,325トンと激減した。'21～25年度はコロナ影響緩和し28,500トンと想定して、原単位ベースで年率5%削減する目標としたことによる。</p> <p>【'22結果】生産量が26,389トンと少なかったことに加え、関西電力のCO2排出係数が少ないため。</p>							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産量(t) 26,389**

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
エネルギー 起源CO ₂	0.309	0.294 4.9	0.272 12.0	0.192 37.9		100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.309	0.294 4.9	0.272 12.0	0.192 37.9		100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)	0.161	0.153 5.0	0.150 6.8	0.152 5.6		100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	<p>・省エネ設備導入(LED化、空調機更新)の着実な実行、排水池曝気設備停止、蒸気発生ボイラー燃費改善(前年度実施)等の効果発現。また、関西電力のCO2排出係数が少ないため。</p> <p>・前年度('21)の実績値修正(誤：0.306→正：0.272)</p>							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	・ 対前年度比0.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高効率照明器具への更新 ・ 省エネ型電気機器への更新 ・ 高性能インバーター機器への更新 ・ 休憩時間の消灯の徹底 ・ 電熱ヒータ待機時の温度設定 ・ 排水池曝気設備停止
2	燃料消費量の削減	・ 対前年度比10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生ボイラ燃費改善 ・ CGB生産停止期間の蒸気削減
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。